

新しい旅の価値を創造しよう

日本旅行が今年、創業110周年のメモリアルイヤーを迎えた。明治38年(1905年)、滋賀県草津市で事業を営む南新助氏が、社寺参詣を行う人々に向けて団体旅行を企画しようとして創業したのが始まり。以来1世紀を超える長きにわたり国内旅行業の先駆者として業界内で確固たる地位を築いてきた。今回、創業月の11月を迎える前に、同社の丸尾和明社長と、将来の日本旅行を担う若手社員4人にお集まりいただき、「これからの日本旅行を語る」をテーマに話していただいた。(東京・日本橋の日本旅行本社で)

——(司会) まず、自己紹介をお願いします。今の仕事内容を教えてください。

吉野 2008年入社。吉野真理と申します。私は入社して7年間、ずっと赤い風船商品の企画担当部署にありまして、主にインターネット商品の統括を担当していますが、今年になって本社に異動をしまして、他業種への企業コラボにも携わっています。

丸尾 2010年入社で、現在、ソリューション営業本部の新宿法人営業部で営業担当をしております。現在は外資系の保険会社さんをターゲット

創業時の理念を大事に お客さまの笑顔に感激 顧客の喜びがやりがい

丸尾

吉野

鈴木



丸尾氏

ンセンティブが多いです。あとは普通の社員旅行など

ります。野口と申します。基本的には、お客さまから

ご依頼いただいたものとかが、ご希望に沿ったプランを提案、手配をしております。個人のお客さまから、時には団体のお客さままで、また国内旅行から海外旅行まで、全てを担当しております。

今インターネットでお客様自身で手配ができる環境がありますが、いかに店頭が必要かというのを常に考えながら仕事をしております。

江草 2012年入社で、横浜支店で営業をしております。江草春奈と申します。私も鈴木さんと同じで一般



野口氏

けて話していることです。

丸尾 創業110周年を迎え、創業時の理念・行動を振り返ると、ポイントとなるのはマーケティングとチャレンジャー精神です。この二つが日本旅行のDNAになっており、お客さまのニーズをもとに、新しい価値の創造にチャレンジすること、それがわれわれの使命だと思っています。

創業者の南新助は、通信手段もほとんどなく、列車の切符や旅館の予約も容易に取れない時代、団体臨時列車を立てて社寺を参詣する団体旅行を催行しました。車内では行く先々の名産品、おやつを事前に仕入れて提供したり、中でのガリ版を刷ってこれから訪ねる旅先の情報を提供するなどしていました。まさに、それまでには全くなかった旅の新たな価値を創造し、お客さまに提供したわけです。

マーケティングとチャレンジャー精神をもとに新しい価値を創造すること。あるいはお客

面白い企画ほど実現は難しく、これまで先輩方が築き上げてきた人とのつながりが協力関係を築くには実現不可能だったと今も振り返ります。だからこそカチカチになった時、初めてソウター企画の醍醐味を感じた気がしました。

加えて、普段はお客さまに接する機会の少ない部署にいるのですが、このソウターは従業員と同行させていただきました。間近にお客さまの反応や笑顔を見た時は感激もひとしおで、この企画がこうして喜びにつながれたのだと思うと、旅行を仕事にすることができて本当に良かったと思います。

鈴木 お客さまの喜ぶ姿を見るのが、私の仕事に対するやりがいになっています。特に、新規に営業をして、営業が終わって、お客さまと喜びを共有している時が、この会社に入ってから一番思う時です。

丸尾 特にソリューション営業本部は若い人が多い。鈴木 皆さん、味方をしてくれるし、分からないことがあった時も常に向き合ってくれます。

社内には「ヤフー知恵袋」の日本旅行バージョンのような仕組み「日本旅行知恵袋」

があり、「〇〇人の参加で、〇〇がたに」という要望があるのですが、旅行先の案を下さい」というようなお願いをする。それに対して何人かが「ここがいいですよ」とか提案をくれたり。とにかく何か困ったことがあっても、必ず助けてくれる人がいます。

野口 私はもともと配属

先がシステムトラブルセンターという部署で、お客さまから電話やインターネットで予約した宿や交通機関のクーポン、乗車券類を送る部署だったのですが、今は転動して店頭窓口。今までの真逆のような仕事をしています。

今は各企業も分社が多い中で、社内にいる部署

和明氏
真理氏
恵美氏
元彦氏
春奈氏

司会＝本社・森田淳

さまざまなことに挑戦 一からの営業で苦労も

野口

江草



鈴木氏

丸尾 社内雰囲気はとうです。

鈴木 すごくフレンドリ

丸尾 さまざまな挑戦があり、さまざまな挑戦ができる可能性秘めているところが、まずわが社のいいところだと思います。

あとは店頭で、お客さまのニーズに極力応えるようにしているのですが、自分の会社のツアーだけでは収まらないことがあります。もちろん、極力わが社の「赤い風船 国内企画商品」「マッハ・ヘストツアー(海外企画商品)」からご案内するのですが、例

↑↑本編は真面目な座談会です↑↑

次代を担う若手たちが未来に飛び立ちます
皆さまのお陰で 日本で最も歴史があります！
創業110周年を迎えました。



代表取締役社長 丸尾和明

女子旅応援ナビゲーター たびーら

THANK YOU
110TH
ANNIVERSARY

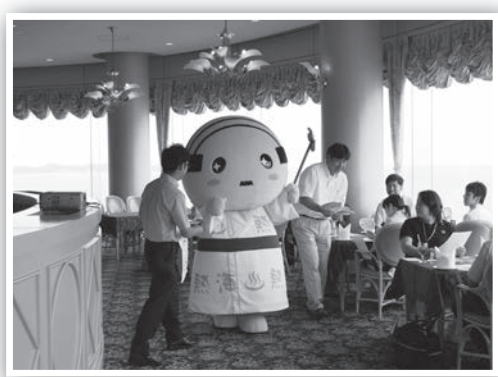
本年1月から日本橋本社に移転しました

日本旅行
NIPPON TRAVEL AGENCY

祝 (株)日本旅行 創業110周年

(株)日本旅行様の今後のご繁栄、ご発展を祈念いたします。

日旅連は、「地域を元気に」事業を応援しています。



日本旅行協定旅館ホテル連盟

創業者の精神をDNAに

〒321-1432 栃木県日光市安川町6-48 TEL.0288(54)1010 <http://www.senhime.co.jp/>

座談会 創業者の精神をDNAに 新しい旅の価値を創造しよう



(5面から続く)

——皆さんの考え、ビジョンはどうですか。

吉野 今までは大勢のお客さまから求められる商品を作るが多かったのですが、これからはお客さまのニーズをつかんで、提案型の商品を作ることも必要になると思います。

鈴木 「旅行会社はもう必要ないのでは」と、お客さまからたまに言われます。インターネットがこれだけ普及して、ちょっとした団体でもお客さまが自身で手配ができるので、逆に私たちができることは何だろうと、考えています。

ただ、500人や千人規模のMICEの大型案件は、もちろん旅行会社を使っていることになると思います。で、そうした大型案件を取ってリピーターにしたいことが重要なことだと思います。機械で世の中がどんどん便利になっていく中で、やはり大切なのは人間同士の関わりだと思っています。お客さまにリピーターになっていただくには、人とのつながり大切に、ホスピタリティの心を持って対応しなければなりません。

日本旅行というブランドは、私の中ですごく温かいです。なので、お客さまにも「ああ日本旅行ね あった

かいよね」「誠実に対応してくれるよね」と言われるような、人のよさが伝わるような会社になっていきたいです。

野口 今はインターネットで個人手配が誰にでも簡単にできる時代です。お客さまが店頭に来る意味、何を求めなければ、店頭というのは

「ナンバードワンを作りたい人のよさが伝わる会社に店頭の存在意義を考える新しいことにチャレンジ」

吉野 丸尾

なかったり、当店でできまじい。言ってしまうことがあ

会社としては、しっかり対応できるスタッフを一人二人、店頭で置くこともこれからの時代、必要かと思

江草 今後、オリンピック等もあり、人の流れが今まで以上に活発になると思

ンドの需要がどんどん増えてくる中で、もっと積極的に、新しいことにチャレンジする必要があるのではないかと

必要かと思

インバウンドのお客さまを案内させていただく旅

な部分とかいろいろあると思

何とかが協力して、良いサービスにつなげたいと思

ハルとかベネチアアンとか、食事で難しい問題があります。そういうワードを出しただけで「当館でも受けない」と言われてしまうこともありますが、まずは話を聞いていただくか、少しでも受け入れる姿勢を持つていただければいいと思いますので、そういう部分は

丸尾 当社が100周年となる今日を迎えることができたのも、お客さまにご利用いただき、旅館さんをはじめサプライヤーの方々にしっかりと支えていただいたからこそだと思います。

そして一つは、私たちの先輩方が新しい価値の創造にチャレンジしていただいたこと。お客さまにご満足いただける企画提案を、喜んでいただいたことが結果として、この100周年につながったのだと思います。

これからもこの会社を継続していくには、人材の力が不可欠です。人財の力が不足しては、一番重要なことは、私たちが受ける姿勢だと思います。お客さまのことを理解し、という思いがあれば、相手にも伝わると思うんです。

日本旅行110年の歴史

▽明治38年(1905) 日本旅行の創業者南新助が高野山参詣団並びに伊勢神宮参拝団を実施(いずれも参加者100名前後)。日本初の旅行会社「南新助」を設立。

▽明治41年(1908) 日本初、国鉄沿線臨時列車による善光寺参詣団を企画、900名が参加。江の島、東京、日光、善光寺を巡る7日間の旅行代金は12円80銭。

▽明治45年・大正元年(1912) 商号を「日本旅行」と定め、参詣・参拝、観光遊覧の団体取扱を実施。創業後南新助、列車内即席座敷用板を考案、後年のお座敷列車の原型。

▽昭和2年(1927) 第1回鮮満視察団15日間、

▽昭和16年(1941) 第二次世界大戦の拡大とともに、創業以来30数年にして一時営業中断。

▽昭和23年(1948) 終戦後3年を経過、業務再開へ向けて始動。

▽昭和26年(1951) お座敷臨時列車を中心、販路を拡大。団体取扱人数40万人を超える。業界初、日本旅行協定旅館連盟(日旅連)発足。

▽昭和36年(1961) シリーズ「パンフレット」発行。創業56年目の「春の旅」シリーズ。

▽昭和41年(1966) 海外旅行の取扱拡大に着手。

▽昭和46年(1971) 海外展開へ「ハワイアイランド」を発売開始。

▽昭和42年(1967) 株式会社日旅産業設立。

創業62年にして、本社を東京へ移転。

▽昭和43年(1968) 日本旅行の国内企画商品「赤い風船」を発売開始。

▽昭和47年(1972) 国内旅行企画商品「赤い風船」を発売開始。

▽昭和50年(1975) 創業70年を記念して「赤い風船」をリニューアル。

▽昭和60年(1985) 創業80年「LET'S GO 80キャンペーン」実施。

▽昭和61年(1986) 第1回ヨーロッパ・ジャパニウム・フェスティバル開催(イタリア・ローマ)。

▽昭和62年(1987) 創業90周年「BEST P RESENT OKINAWA」バス旅行。

▽平成8年(1996) マツダ25周年記念ツアー、日本初「五大大陸世界一周の旅」ツアーを企画・実施。

▽平成10年(1998) 全国代理店・特約店会連合「スクラム」の設立(計230社)。

▽平成19年(2007) 「ホテルノルド小樽」ブランドオープン(100%出資のホテル経営)。

▽平成20年(2008) 新海外系コンピュータシステム稼働。

▽平成21年(2009) 地域観光振興事業の拡大のため、地域振興室を新設。

▽平成22年(2010) 次世代認定マーク「e-m」を取得。

▽平成23年(2011) 東北における地域会社として「日本旅行東北」を設立。

▽平成24年(2012) 東北営業本部の事業を譲渡。インバウンド向け宿泊サービス「インバウンド向け宿泊サービス」を設立。

▽平成25年(2013) 経営業務受託会社として「日本旅行アカデミー」を設立。

▽平成26年(2014) 中国・北京に現地法人「旅旅行」を設立。

▽平成27年(2015) 創業110周年。本社を東京日本橋に移転。

▽平成28年(2016) 赤い風船50周年特別企画「1台1億円の特別仕様バス」による「お一人様12万円」日本一周の旅を企画。

▽平成29年(2017) 宿泊施設検索・予約サイト「お宿」をリニューアル。

▽平成30年(2018) 提携販売店向けインターネット予約システム「e-AL」をリニューアル。

▽平成31年(2019) 「飛鳥」で迎える世界初、西暦2000年ツアー実施。

▽平成32年(2020) JR西日本TTS本部と統合、旅旅行が拡大。

▽平成33年(2021) 2007年株式上場を運営目標とする中期経営ビジョン「日本旅行イノベーション」を策定。

▽平成34年(2022) JR西日本からの増資(60億円)により、連結対象会社となる。

▽平成35年(2023) 旅旅行の総合検索・予約サイト「旅旅行」をスタート。

▽平成36年(2024) 株式会社日本旅行オーエム・シール・グループ合併会社化。

▽平成37年(2025) 中国・上海における世界初の独立旅行会社「日旅国際旅行株式会社」設立。

▽平成38年(2026) 創業100周年。

▽平成39年(2027) 創業110周年。

▽平成40年(2028) 創業120周年。

▽平成41年(2029) 創業130周年。

▽平成42年(2030) 創業140周年。

▽平成43年(2031) 創業150周年。

▽平成44年(2032) 創業160周年。

▽平成45年(2033) 創業170周年。

▽平成46年(2034) 創業180周年。

▽平成47年(2035) 創業190周年。

▽平成48年(2036) 創業200周年。

▽平成49年(2037) 創業210周年。

▽平成50年(2038) 創業220周年。

▽平成51年(2039) 創業230周年。

▽平成52年(2040) 創業240周年。

▽平成53年(2041) 創業250周年。

▽平成54年(2042) 創業260周年。

▽平成55年(2043) 創業270周年。

▽平成56年(2044) 創業280周年。

▽平成57年(2045) 創業290周年。

▽平成58年(2046) 創業300周年。

▽平成59年(2047) 創業310周年。

▽平成60年(2048) 創業320周年。

▽平成61年(2049) 創業330周年。

▽平成62年(2050) 創業340周年。

▽平成63年(2051) 創業350周年。

▽平成64年(2052) 創業360周年。

▽平成65年(2053) 創業370周年。

▽平成66年(2054) 創業380周年。

▽平成67年(2055) 創業390周年。

▽平成68年(2056) 創業400周年。

▽平成69年(2057) 創業410周年。

▽平成70年(2058) 創業420周年。

▽平成71年(2059) 創業430周年。

▽平成72年(2060) 創業440周年。

▽平成73年(2061) 創業450周年。

▽平成74年(2062) 創業460周年。

▽平成75年(2063) 創業470周年。

▽平成76年(2064) 創業480周年。

▽平成77年(2065) 創業490周年。

▽平成78年(2066) 創業500周年。

日本旅行110周年に寄せて

メッセージ

日本旅行創業110周年、誠におめでとうございます。

心よりお祝い申し上げます。日本旅行様のこれまでのご功績に敬意を表すとともに今後のさらなるご発展



日本旅行協定 小林海平 太会長
旅館ホテル連盟

「ホテルノルド小樽」ブランドオープン(100%出資のホテル経営)。

▽平成19年(2007) 「ホテルノルド小樽」ブランドオープン(100%出資のホテル経営)。

▽平成20年(2008) 新海外系コンピュータシステム稼働。

▽平成21年(2009) 地域観光振興事業の拡大のため、地域振興室を新設。

▽平成22年(2010) 次世代認定マーク「e-m」を取得。

▽平成23年(2011) 東北における地域会社として「日本旅行東北」を設立。

▽平成24年(2012) 東北営業本部の事業を譲渡。インバウンド向け宿泊サービス「インバウンド向け宿泊サービス」を設立。

▽平成25年(2013) 経営業務受託会社として「日本旅行アカデミー」を設立。

▽平成26年(2014) 中国・北京に現地法人「旅旅行」を設立。

▽平成27年(2015) 創業110周年。本社を東京日本橋に移転。

▽平成28年(2016) 赤い風船50周年特別企画「1台1億円の特別仕様バス」による「お一人様12万円」日本一周の旅を企画。

▽平成29年(2017) 宿泊施設検索・予約サイト「お宿」をリニューアル。

▽平成30年(2018) 提携販売店向けインターネット予約システム「e-AL」をリニューアル。

▽平成31年(2019) 「飛鳥」で迎える世界初、西暦2000年ツアー実施。

▽平成32年(2020) JR西日本TTS本部と統合、旅旅行が拡大。

▽平成33年(2021) 2007年株式上場を運営目標とする中期経営ビジョン「日本旅行イノベーション」を策定。

▽平成34年(2022) JR西日本からの増資(60億円)により、連結対象会社となる。

▽平成35年(2023) 旅旅行の総合検索・予約サイト「旅旅行」をスタート。

▽平成36年(2024) 株式会社日本旅行オーエム・シール・グループ合併会社化。

▽平成37年(2025) 中国・上海における世界初の独立旅行会社「日旅国際旅行株式会社」設立。

▽平成38年(2026) 創業100周年。

▽平成39年(2027) 創業110周年。

▽平成40年(2028) 創業120周年。

▽平成41年(2029) 創業130周年。

▽平成42年(2030) 創業140周年。

▽平成43年(2031) 創業150周年。

▽平成44年(2032) 創業160周年。

▽平成45年(2033) 創業170周年。

▽平成46年(2034) 創業180周年。

▽平成47年(2035) 創業190周年。

▽平成48年(2036) 創業200周年。

別館「個止吹気亭」
伝統と格式が
息づく大人のリゾート

新々に美しい表情を見せる日本庭園。心安らいているだけで、別館「個止吹気亭」すべての客室に庭園を望むゆったりとした露天風呂を備えています。



別館「ゆとりぎ亭」
スタイリッシュな
和モダンリゾート

日本庭園の静寂に包まれ、想いのままに温泉を満喫する時間はゆとりぎ亭の醍醐味。全13室の客室は、石造り、陶器造り、ひのき造りなど、それぞれ趣の異なる庭園露天風呂をお楽しみいただけます。



北陸・福井・あわら温泉
グランディア
GRANDIA HOUSEN

http://www.g-housen.co.jp/
収容人員 800名 客室総数 113室

〒910-4193 福井県あわら市舟津 43-26
TEL:0776-77-2555 FAX:0776-77-2592

取得。
▽平成20年(2008) 新海外系コンピュータシステム稼働。

▽平成21年(2009) 地域観光振興事業の拡大のため、地域振興室を新設。

▽平成22年(2010) 次世代認定マーク「e-m」を取得。

▽平成23年(2011) 東北における地域会社として「日本旅行東北」を設立。

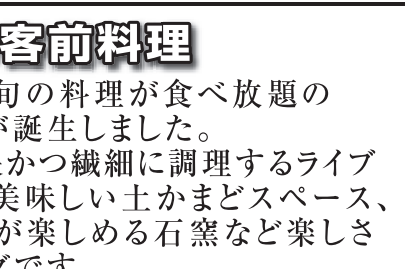
▽平成24年(2012) 東北営業本部の事業を譲渡。インバウンド向け宿泊サービス「インバウンド向け宿泊サービス」を設立。

▽平成25年(2013) 経営業務受託会社として「日本旅行アカデミー」を設立。

▽平成26年(2014) 中国・北京に現地法人「旅旅行」を設立。

▽平成27年(2015) 創業110周年。本社を東京日本橋に移転。

新御客前料理
和・洋のより新鮮で旬の料理が食べ放題の
“しんわダイニング”が誕生しました。
料理人が食材を豪快かつ繊細に調理するライブキッチンやごはんが美味しい土かまどスペース、そして焼きたてピザが楽しめる石窯など楽しさいっぱいのダイニングです。



24時間風呂／風流野天風呂棟
戸田家温泉村

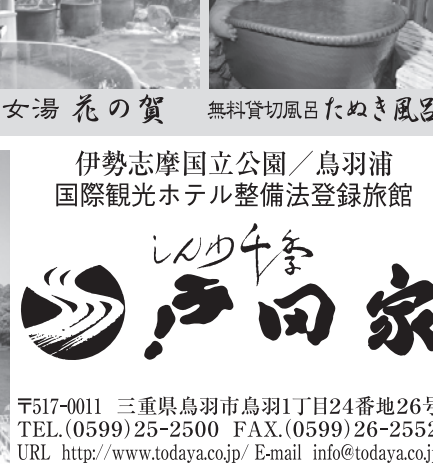


男湯 緑の質 女湯 花の質 無料貸切風呂 ぬき風呂

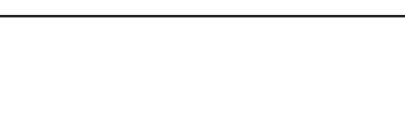
伊勢志摩国立公園／鳥羽浦
国際観光ホテル整備法登録旅館



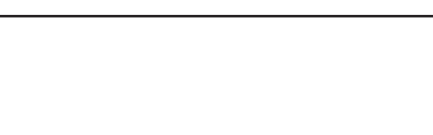
〒517-0011 三重県鳥羽市鳥羽1丁目24番地26号
TEL:(0599)25-2500 FAX:(0599)26-2552
URL http://www.todaya.co.jp E-mail info@todaya.co.jp



しんわダイニング
天地海誕生!



長崎市は、世界新三大夜景の1つに選ばれました。
長崎へお越しの際は、長崎夜景を見渡せる稲佐山観光ホテルをご利用ください。



長崎市は、世界新三大夜景の1つに選ばれました。
長崎へお越しの際は、長崎夜景を見渡せる稲佐山観光ホテルをご利用ください。



長崎市は、世界新三大夜景の1つに選ばれました。
長崎へお越しの際は、長崎夜景を見渡せる稲佐山観光ホテルをご利用ください。



長崎市は、世界新三大夜景の1つに選ばれました。
長崎へお越しの際は、長崎夜景を見渡せる稲佐山観光ホテルをご利用ください。



長崎市は、世界新三大夜景の1つに選ばれました。
長崎へお越しの際は、長崎夜景を見渡せる稲佐山観光ホテルをご利用ください。



長崎市は、世界新三大夜景の1つに選ばれました。
長崎へお越しの際は、長崎夜景を見渡せる稲佐山観光ホテルをご利用ください。

長崎市は、世界新三大夜景の1つに選ばれました。
長崎へお越しの際は、長崎夜景を見渡せる稲佐山観光ホテルをご利用ください。

長崎市は、世界新三大夜景の1つに選ばれました。
長崎へお越しの際は、長崎夜景を見渡せる稲佐山観光ホテルをご利用ください。

長崎市は、世界新三大夜景の1つに選ばれました。
長崎へお越しの際は、長崎夜景を見渡せる稲佐山観光ホテルをご利用ください。

長崎市は、世界新三大夜景の1つに選ばれました。
長崎へお越しの際は、長崎夜景を見渡せる稲佐山観光ホテルをご利用ください。

長崎市は、世界新三大夜景の1つに選ばれました。
長崎へお越しの際は、長崎夜景を見渡せる稲佐山観光ホテルをご利用ください。

長崎市は、世界新三大夜景の1つに選ばれました。
長崎へお越しの際は、長崎夜景を見渡せる稲佐山観光ホテルをご利用ください。

長崎市は、世界新三大夜景の1つに選ばれました。
長崎へお越しの際は、長崎夜景を見渡せる稲佐山観光ホテルをご利用ください。

長崎市は、世界新三大夜景の1つに選ばれました。
長崎へお越しの際は、長崎夜景を見渡せる稲佐山観光ホテルをご利用ください。

長崎市は、世界新三大夜景の1つに選ばれました。
長崎へお越しの際は、長崎夜景を見渡せる稲佐山観光ホテルをご利用ください。

長崎市は、世界新三大夜景の1つに選ばれました。
長崎へお越しの際は、長崎夜景を見渡せる稲佐山観光ホテルをご利用ください。

長崎市は、世界新三大夜景の1つに選ばれました。
長崎へお越しの際は、長崎夜景を見渡せる稲佐山観光ホテルをご利用ください。

長崎市は、世界新三大夜景の1つに選ばれました。
長崎へお越しの際は、長崎夜景を見渡せる稲佐山観光ホテルをご利用ください。

長崎市は、世界新三大夜景の1つに選ばれました。
長崎へお越しの際は、長崎夜景を見渡せる稲佐山観光ホテルをご利用ください。

長崎市は、世界新三大夜景の1つに選ばれました。
長崎へお越しの際は、長崎夜景を見渡せる稲佐山観光ホテルをご利用ください。

長崎市は、世界新三大夜景の1つに選ばれました。
長崎へお越しの際は、長崎夜景を見渡せる稲佐山観光ホテルをご利用ください。

長崎市は、世界新三大夜景の1つに選ばれました。
長崎へお越しの際は、長崎夜景を見渡せる稲佐山観光ホテルをご利用ください。

長崎市は、世界新三大夜景の1つに選ばれました。
長崎へお越しの際は、長崎夜景を見渡せる稲佐山観光ホテルをご利用ください。

長崎市は、世界新三大夜景の1つに選ばれました。
長崎へお越しの際は、長崎夜景を見渡せる稲佐山観光ホテルをご利用ください。

長崎市は、世界新三大夜景の1つに選ばれました。
長崎へお越しの際は、長崎夜景を見渡せる稲佐山観光ホテルをご利用ください。

長崎市は、世界新三大夜景の1つに選ばれました。
長崎へお越しの際は、長崎夜景を見渡せる稲佐山観光ホテルをご利用ください。

長崎市は、世界新三大夜景の1つに選ばれました。
長崎へお越しの際は、長崎夜景を見渡せる稲佐山観光ホテルをご利用ください。

長崎市は、世界新三大夜景の1つに選ばれました。
長崎へお越しの際は、長崎夜景を見渡せる稲佐山観光ホテルをご利用ください。

長崎市は、世界新三大夜景の1つに選ばれました。
長崎へお越しの際は、長崎夜景を見渡せる稲佐山観光ホテルをご利用ください。

長崎市は、世界新三大夜景の1つに選ばれました。
長崎へお越しの際は、長崎夜景を見渡せる稲佐山観光ホテルをご利用ください。

長崎市は、世界新三大夜景の1つに選ばれました。
長崎へお越しの際は、長崎夜景を見渡せる稲佐山観光ホテルをご利用ください。

長崎市は、世界新三大夜景の1つに選ばれました。
長崎へお越しの際は、長崎夜景を見渡せる稲佐山観光ホテルをご利用ください。

長崎市は、世界新三大夜景の1つに選ばれました。
長崎へお越しの際は、長崎夜景を見渡せる稲佐山観光ホテルをご利用ください。

長崎市は、世界新三大夜景の1つに選ばれました。
長崎へお越しの際は、長崎夜景を見渡せる稲佐山観光ホテルをご利用ください。

長崎市は、世界新三大夜景の1つに選ばれました。
長崎へお越しの際は、長崎夜景を見渡せる稲佐山観光ホテルをご利用ください。

長崎市は、世界新三大夜景の1つに選ばれました。
長崎へお越しの際は、長崎夜景を見渡せる稲佐山観光ホテルをご利用ください。

長崎市は、世界新三大夜景の1つに選ばれました。
長崎へお越しの際は、長崎夜景を見渡せる稲佐山観光ホテルをご利用ください。

長崎市は、世界新三大夜景の1つに選ばれました。
長崎へお越しの際は、長崎夜景を見渡せる稲佐山観光ホテルをご利用ください。

長崎市は、世界新三大夜景の1つに選ばれました。
長崎へお越しの際は、長崎夜景を見渡せる稲佐山観光ホテルをご利用ください。

長崎市は、世界新三大夜景の1つに選ばれました。
長崎へお越しの際は、長崎夜景を見渡せる稲佐山観光ホテルをご利用ください。

長崎市は、世界新三大夜景の1つに選ばれました。
長崎へお越しの際は、長崎夜景を見渡せる稲佐山観光ホテルをご利用ください。

長崎市は、世界新三大夜景の1つに選ばれました。
長崎へお越しの際は、長崎夜景を見渡せる稲佐山観光ホテルをご利用ください。

長崎市は、世界新三大夜景の1つに選ばれました。
長崎へお越しの際は、長崎夜景を見渡せる稲佐山観光ホテルをご利用ください。

長崎市は、世界新三大夜景の1つに選ばれました。
長崎へお越しの際は、長崎夜景を見渡せる稲佐山観光ホテルをご利用ください。

長崎市は、世界新三大夜景の1つに選ばれました。
長崎へお越しの際は、長崎夜景を見渡せる稲佐山観光ホテルをご利用ください。

長崎市は、世界新三大夜景の1つに選ばれました。
長崎へお越しの際は、長崎夜景を見渡せる稲佐山観光ホテルをご利用ください。

長崎市は、世界新三大夜景の1つに選ばれました。
長崎へお越しの際は、長崎夜景を見渡せる稲佐山観光ホテルをご利用ください。

長崎市は、世界新三大夜景の1つに選ばれました。
長崎へお越しの際は、長崎夜景を見渡せる稲佐山観光ホテルをご利用ください。

長崎市は、世界新三大夜景の1つに選ばれました。
長崎へお越しの際は、長崎夜景を見渡せる稲佐山観光ホテルをご利用ください。